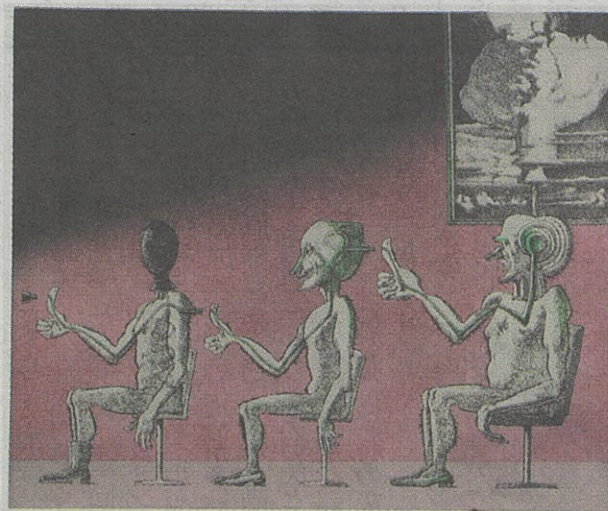


文化・芸術



「ボタン (A)」

1988年、エッチング、アクリル、
ト、手彩色
アルシュ紙、36・0cm×43・0cm

浜田知明 (1917～2018年)

大川美術館コレクション展
「特集展示:戦後80年松本竣介と
同時代の画家たち」から

〈名画の扉〉

右から順番にボタン (現在の東京芸術大学) を押そうとする3人の 油画科を卒業しました 人物が描かれていま が、すぐに現役兵とし す。最後のボタンを押 入隊し、翌年には中 す左の人物は、頭に袋 国大陸に派遣されまし をかぶせられ、自分が た。戦後は戦地での不 何を押そうとしている 条理な体験や凄惨 (せ のか見えていないよう いさん) な光景を一貫 です。そして、背後に して表現し続けた版画 描かれたきのこ雲は、 家・彫刻家です。

ボタンを押すことに よって起こる出来事を 示唆しているのではな いか。

本作は浜田知明が長 年にならって構想を練 った。本日は本作を通し て戦争について考え、 犠牲となった方々に祈 りをささげる日として 本県に生まれ、193 9年に東京美術学校 校。

(佐藤)